



大内中だより

きつきの丘

【学校教育目標】
「あいさつ日本一を目指して」

令和5年6月9日 第10号

「心の準備と、判断力を生かした戦いを」～地区総体に向けて～

地区総体まで、あと1週間となりました。週末の練習試合等も含めて、壮行会が行われる来週は最後の調整になることでしょう。総体までに個人やチームに与えられた準備期間は皆同じであり、その限られた時間をどう使うかが鍵になります。これから大事なものは、心の調整です。大会で実力を発揮するための心の準備について触れておきます。

右の写真は、3年生の学年掲示板の内容です。部活動に力を入れる期間ですが、学習にもしっかり取り組むように呼びかけています。「どちらにも力を入れるのは厳しい！」との悲鳴が聞こえてきそうですが、普段の学校生活と部活動はどう関わっているのか、しっかりとした説明ができる人はどれくらいいるでしょうか。

試合、あるいは勝負というのは、判断の連続です。瞬間、瞬間の的確な判断が勝敗を左右します。この判断力は、部活動だけで身に付くものではありません。

毎日の生活も判断の連続です。大げさに言うと、生きることもそのものが判断の連続なのです。その時々状況に応じてふさわしい判断を選択できるかどうか問われることになります。

今自分は何をなすべきか、何をしてはいけないのか、そうした判断の積み重ねで自分の判断力を高めてほしいと思います。日常生活でいい判断ができない選手に、極限状態の試合の中で、いい判断ができるわけではないと言われる所以（ゆえん）なのです。

これからの期間は、部活動の仲間や全校生徒、保護者、地域からの応援に感謝しながら、「心の準備」と「的確な判断力」をもって、練習に臨みましょう。
(14日の壮行会に向けて、科学部主体の応援練習にも熱が入ってきました。)

